

技術支援ワーキングの紹介

今回は、他施設に対して放射線治療の技術支援を行う「HIPRAC技術支援ワーキンググループ(以下、技術支援WG)」について紹介します。なお、本技術支援WGによる認証は、**がん診療連携拠点病院の要件である「第三者機関による出力線量測定を行う等、放射線治療の品質管理を行うこと」に該当すると厚労省より回答を得ました。**

Q1.技術支援WGって何？

広島県内の放射線治療の均てん化と水準向上のため、放射線治療の品質管理を支援することを目的として設置されたWGです。委員は、広島市内4基幹病院(広島大学病院、県立広島病院、広島市立広島市民病院、広島赤十字・原爆病院)および、広島県、HIPRACのスタッフ、総勢16名で構成されています。

Q2.どんな活動をしているの？

【放射線治療装置(以下、リニアック)の出力線量管理】

外部放射線治療装置(リニアック)の出力の妥当性を第三者的に評価し、証明書を発行しようという取り組みを行っています。放射線治療では処方線量の単位としてGy(グレイ)が用いられますが、リニアックからどれだけの放射線を出せば目的とする処方線量(例えば1日あたり2Gy)になるかを計算する必要があります。その計算が問題ないかどうかを確認するのがこの取り組みのポイントです。

【放射線治療計画装置の不均質補正管理】

治療計画時に行う不均質補正※1で重要な役割を果たすCT値-密度変換表の妥当性を評価しようという取り組みを行っています。標準化が難しく世界的にも実施されていませんが、技術支援WGでは新たに簡便な手法を開発し、リニアックだけでなく、トモセラピーやガンマナイフ等も調査の対象としています。

※1 不均質補正:放射線の透過量は、人体の部位(筋肉・肺・骨等)の密度によって異なるため、この効果を考慮して線量計算を行うこと

☎技術支援WGの活動に関する

お問い合わせは、電話またはメールでHIPRACまでお願いします。

> TEL:082-263-1330

> E-mail: tech-support@hiprac.jp

【3次元水ファントム講習会・初級編を開催しました！】

3次元水ファントムは、リニアックおよび放射線治療計画装置の品質管理業務における必須ツールです。今回の講習会では、データ解析による測定結果の判断基準も含め講義を行い、広島県内外から総勢23名の医学物理士、診療放射線技師等の皆様にご参加頂くことが出来ました。今後もこのような講習会を通じて医療人材の育成を行って参ります。

《技術支援WGによる測定の様子》



《実施証明書》

外部放射線治療装置の出力線量管理調査
実施証明書

施設名 広島がん高精度放射線治療センター
住所 広島県広島市東区二葉の里三丁目2番2号
外部放射線治療装置 TrueBeam #2318

貴施設は、広島がん高精度放射線治療センター運営協議会技術支援ワーキンググループによる外部放射線治療装置の出力線量管理調査を実施されたことを証明致します。

証明書番号 : 01-H28-001-B-1

平成 29年 3月 30日

広島がん高精度放射線治療センター
センター長 永田 晴

広島がん高精度放射線治療センター運営協議会技術支援ワーキンググループは、広島県、広島市、一般社団法人広島県医師会、4基幹病院(広島大学病院、県立広島病院、広島市立広島市民病院、広島赤十字・原爆病院)による7基共同事業による活動です。本活動への参加は、厚生労働省連携がん・医療対策より、がん診療連携拠点病院等の登録に際する指針(028.1.10)のF11(1)③イ 第三者機関による出力線量測定を行う等、放射線治療の品質管理を行うことという要件を満たすことが確認されています。

《講習会の様子》



HIPRACに関するお問い合わせ(診療・受診方法など)は下記をご参考ください。

E-mail : office@hiprac.jp Address : 広島市東区二葉の里三丁目2番2号

Tel : 082-263-1330

Fax : 082-263-1331

HP : <http://www.hiprac.com>



HIPRAC
Hiroshima High-Precision Radiotherapy Cancer Center

広島がん高精度放射線治療センター